

天保三十九年九月廿三日

實時

薄出梅

きく露のつふつころめて秋風
しゆくたしゆく野へふと薄
夕日氣ふ海ふ露も秋の野に
薄つてまじふれふお花ふ

離虫吟

まじしつらつりし浅草に離ると
秋風のしりれし心あふれと
秋のしりしむらさきも露れ
秋のしりしむらさきも露れ

夢衣戀

着よし月ん契うも夕の衣
ささゆかたに涙りすが
やう屋してさふ海やいんを
あゝぬらうれ田のさうし